



2008年1月号

芸農界を振り返ってみましょう

2008年、新しい年のはじめということで、今年の芸農界をどうしていきたいか、次回の第34回芸農界で議論したいと思っています。

その前に、記録が始まった第24回芸農界からの振り返りを紙面にしたいと思います。

第24回芸農界 2006/6/4

弥富で交流会がありました。このときに事務局が発足し、芸農界の記録が始まり、芸農界新聞ができました。

新たな体制でスタートということで、村井会長がスピーチをしました。“芸農界は農業を主軸として、「生命」「LOHAS」「環境」「持続可能な社会」というテーマを示して、特に農業は命をつくるということを主張していきたい。”“農業は「脳業」に、もっと知恵を使って展開していきましょう。”“芸農人それぞれが芸農界を通じて自分自身を育ててほしいです。”

第25回芸農界 2006/8/20

養老で交流会がありました。この回はカーボンカルチャー

プロジェクトについての報告と意見交換をしました。第24回交流会の出会いがきっかけで、炭についてのプロジェクトが生まれたのです。流木や間伐材で炭をつくって土壌改良のような燃料以外の用途で使えば二酸化炭素を固定できる、ということができるとわかり、これはぜひ応援しようじゃないかということで人が集まりました。加藤久義さん(現あいち炭やきの会会長)をリーダーとして、炭に関する情報やアイテムを芸農人の人脈で集めました。

※2008年1月現在、安価に流木炭がつくられるようになり、M-easyの常滑ファームで有効な利用法を試験する動きに至っています。

第26回芸農界 2006/10/14

弥富で交流会がありました。秋の農林水産フェアに出店できるという話があり、その打ち合わせをしました。また、出店前に農業の原点をかえりみようということで、農家の吉川さんにミツバの生産についての話をいただきました。この話はあ

とでまとめてフェアで展示しました。

ふるさと農林水産フェア・秋

2006/11/3,4,5

芸農界で初めての大きなイベント参加です。芸農界の大きなブースをつくり、その中で芸農人それぞれが展示をしたり、商品を販売したりしました。

目の前でミツバジュースをつくり販売、空中菜園トマトの収穫体験、おふくろさん栽培のサツマイモ、ゴボウ収穫体験を、訪れた子どもたちにやってもらいました。カーボンカルチャープロジェクトのアイテム販売も始まりました。



その後、11月11,12日に中部電力の公園「ブルーボネット」で同様の展示をしました。

第27回芸農界 2006/12/23

道楽の郷にドームハウスが完成し、その記念にドームで交流会、クリスマスパーティーをしました。今後ドームをどのように活用していくのか、集まった皆さんで意見交換をしました。“海部津島地域の人々が集まり、地域の活性化ができる中心地となったらいい。”

第 28 回芸農界 2007/2/25

養老で交流会がありました。M-easy が計画している滞在型市民農園構想の話がありました。“農家が減り、耕作放棄地が増えている背景がある。クラインガルテンという、市民農園にコテージを付けて宿泊できるものを常滑でやりたい。そこを地域活性の中心となるように様々な事業やイベントをやっていききたい。”

※現在 M-easy は常滑に移住し、遊休農地を耕作しています。クラインガルテンの建設にはまだ至っておりませんが、早く実現できるように日々奮闘しております。

第 29 回芸農界 2007/4/21,22

関東への視察を行いました。きっかけは以前の交流会で、埼玉のサイボクハムは農業のテーマパークで、見学に行っておくべきだと勧められたからです。さらに、村井会長がデザインした PASONA O₂ の東京地下農場の見学に行きました。



また、途中で静岡の石垣イチゴ狩り、代々木公園のアースデイマーケットの見学もしてきました。

ふるさと農林水産フェア・春

2007/5/3,4,5

フェア開催期間中、久屋大通公園におふくろさんに植えられたトマトのトンネルができました。これにはたまたま訪れていた外国人もビックリしていました。根のついた活きた野菜の「活菜」がお客さんに好評でした。秋のフェアと同様に芸農人各々の作品展示や商品販売も行われました。



第 30 回芸農界 2007/6/17

弥富で交流会がありました。このときは、それぞれが持っている話題をざっくばらんに交流しました。その後、M 式水耕の高品質おふくろさん栽培、セルフファームを見学しました。

第 31 回芸農界 2007/9/1,2

三重のモクモク手づくりファームに視察に行ってきました。レストランバイキングやしいたけ狩りを利用しました。“サイボクハムと比較して、サイボクハムは市場でしたがモクモクは市場でなく子どもが学習できる空間があり良かった”という感想がありました。また、伊勢神宮おかげ横丁や久居の梨収穫体験にも立ち寄りしました。

ふるさと農林水産フェア・秋

2007/10/5,6,7

以前のフェアと同様に、空中菜園の巨大ブースの下に、各々芸農人の作品展示や商品販売が行われました。フェアへの出店が定番化してきて、芸農界を知っているお客さんが増えてきているように感じられました。



第 32 回芸農界 2007/10/28

養老で交流会がありました。新しく芸農人登録して参加した人と、何年も参加し続けている人との交流が盛んでした。

芸農界新聞

今まで 10 回の発行、のべ 50 ページありました。

2006 年 7 月号 4p

2006 年 8 月号 4p

2006 年 11 月号 4p

2007 年 2 月号 4p

2007 年 4 月号 6p

2007 年 5 月号 6p

2007 年 6 月号 2p

2007 年 8 月号 8p

2007 年 10 月号 6p

2007 年 12 月号 6p

芸農界新聞のバックナンバーは芸農界ホームページ内で見ることができます。

第33回芸農界 2007/12/15

今回の芸農界は愛西市の道楽の郷のドームハウスで楽しみ'masパーティーを開催し、一般のお客さんにも開放し、楽

しんでいただきました。ミツバを入れた餅つきやミツバチャーハン、ミツバラーメンなど、その場で調理して食べられるメニューがたくさんありました。

また、スペシャルゲストとして「やさいのうた」で有名なプライナスの皆さんに来ていただき、演奏していただきました。



アンケート

これからの芸農界の方針を決めるにあたり、芸農人の皆さんからご意見を集めたいと思います。芸農界にどうなってほしいか、何を求めているのか、以下に選択肢を用意しましたので、ハガキに番号を記入してお返事ください。ご協力お願いします。

- ①農林水産フェアや他のイベントで自分の商品、作品をお客さんにアピールしたい。自らをデビューさせたい。
- ②自分のビジネスの参考になるような新しい情報がほしい。講師の話を知りたい。儲け話がほしい。視察に行きたい。
- ③自分の生活が向上するような新しい情報がほしい。講師の話を知りたい。見学したい。
- ④農林水産フェアに向けて、みんなで一緒に農業アートを作成してみたい。
- ⑤もっとビジネスになる議論をしたい。新しい商品開発や新しい事業プランを考えたい。手持ちの商品をもっと売りたい。
- ⑥「環境」「食育」「LOHAS」などをテーマに共同学習したりPR活動をしたい。
- ⑦同じ目的意識を持つ仲間づくりがしたい。
- ⑧農業技術を学びたい。
- ⑨アートを学びたい。
- ⑩命にやさしい商品がほしい。買いたい。
- ⑪たまには集まっておしゃべりとかしたい。
- ⑫村井会長のファンだから、話をもっと聞きたい。
- ⑬自分の活動を知ってほしい。自分の才能を他の芸農人に売り込みたい。芸農界新聞に掲載してほしい。
- ⑭社会の役に立つような何かをしたい。
- ⑮その他。自由に記載してください。

年間スケジュール

- ・第34回 2月23日(土)
@弥富会場 (M式水耕)
- ・第35回 4月19日(土)
@養老会場 (寿喜養膳)
- ・農林水産フェア春 5月連休
- ・第36回 6月22日(日)
@弥富会場 (M式水耕)
- ・第37回 8月23.24日(土.日)
@養老会場 (宿泊)
- ・農林水産フェア秋
- ・第38回 10月26日(日)
@常滑会場 (M-easy)
- ・第39回 12月23日(祝)
@愛西市 道楽の郷

<編集後記>

プライナスの皆さんにお声をかけたら、嬉しいことに、今回の楽しみ'masパーティーに来てくださいました。だけど自分としては歌を聞き逃してしまったので残念でした。(竹内)

第34回芸農界交流会

のご案内

第34回芸農界は2月23日(土)、M式水耕研究所に午前10時集合、10時30分に開始です。参加費は3,000円です。

次回の芸農界は、これまでの活動も踏まえ、今後芸農界としてどのような活動をしていきたいか、皆さんと意見交換をしたいと思います。

